

透間の家（新築）

2階建ての概念をくずすことで、より良い住環境を目指した住宅

【背景】

地震による被害がきっかけとなり、長年住んでいた木造平屋建ての住宅を建替えることになりました。今後の家族構成の変化や、将来的に一部を賃貸とできることを視野に入れた計画であったため、元の住宅より面積が増え、2階建てとして計画をしていました。そんな中、平屋建てに住み慣れたお母様から、「地面に接した家で、庭のお手入れがしたい。」「上階からの生活音が気になる。」というご要望があり、相反する2つの要件から、1階から2階部分を切り離し、お互いの住環境をより良くする住宅を目指しました。

【施主要望】

- ・LDKとお母様の寝室は1階がよい。
- ・平屋建てに住み慣れているため、上階からの生活音を感じない建物がよい。
- ・1階のリビングダイニングには庭を眺める大きな開口がほしい。
- ・2階の一部を賃貸とした時に、付加価値のある部屋としたい。
- ・温かい家にしたい。



既存の平屋建て住宅

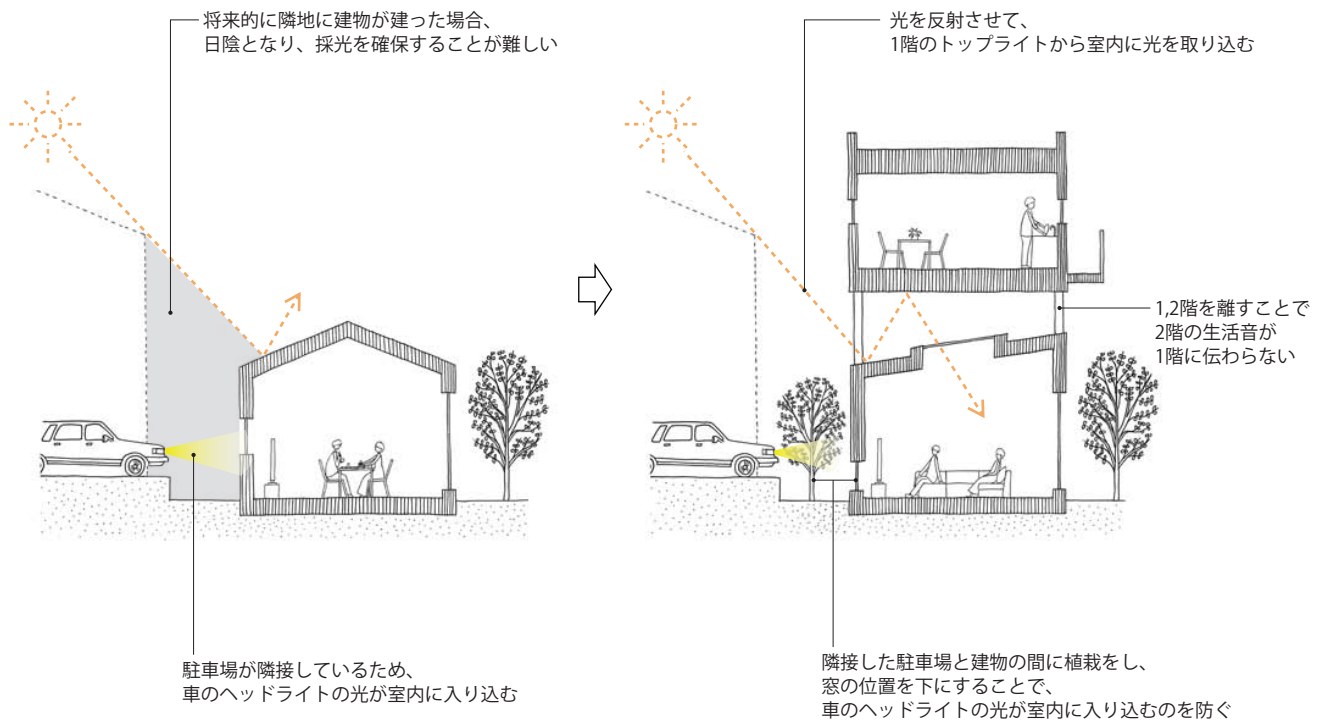
【コンセプト】

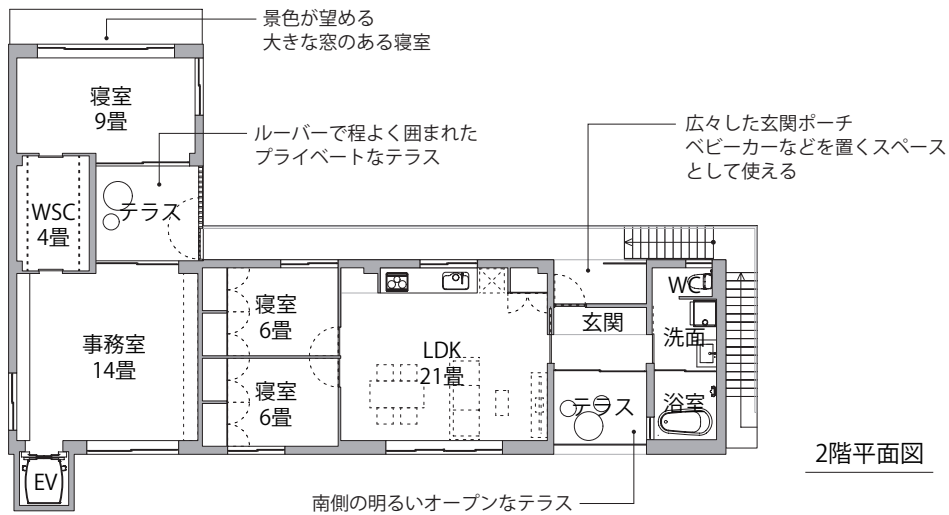
平屋建てに住み慣れた施主の住環境への感覚を大事にし、かつ賃貸としても付加価値がつけられるような建築を実現するために、1階部分から2階部分を切り離すことを考えました。1階は天高のある勾配屋根とし、おおらかな平面計画としました。勾配屋根にはいくつもトップライトを設置し、中空層を介して光と風を取り込み、平屋と同じ住環境を実現しています。2階は持ち上げているため、3階建てに近い高さに位置することで、丘の上にある敷地からの眺めがよく、採光通風を妨げるものがない気持ちのよい住環境となります。

2階があることで、1階への直射日光の制御ができ、1階が基礎の役割となることで、2階の高さを高くすることができる。施主にとってマイナス面もあった2階建てを、1階と2階お互いの住環境、付加価値を向上しあう間柄に変えていくことを目指しました。

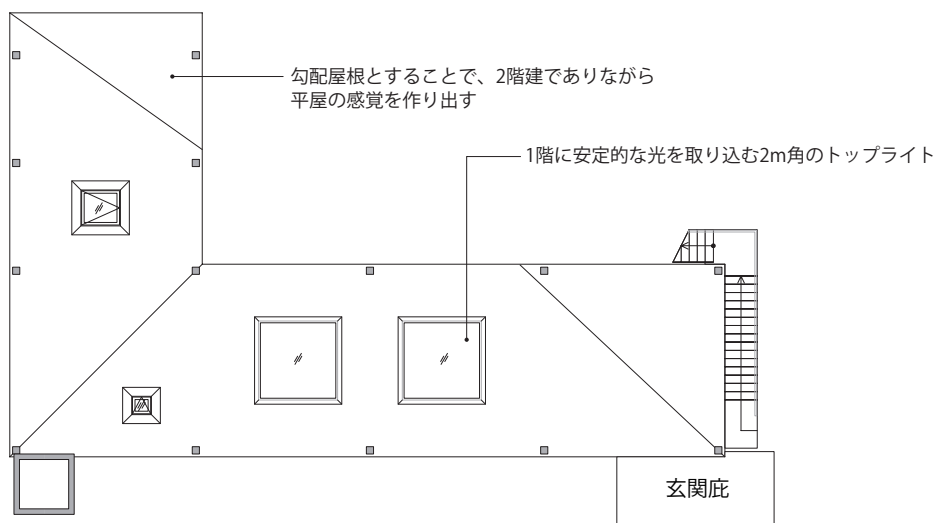


プレゼンテーションで使用した模型の外観写真
2階の軒下を白くすることで、中空層に差し込んだ太陽光を増幅します。

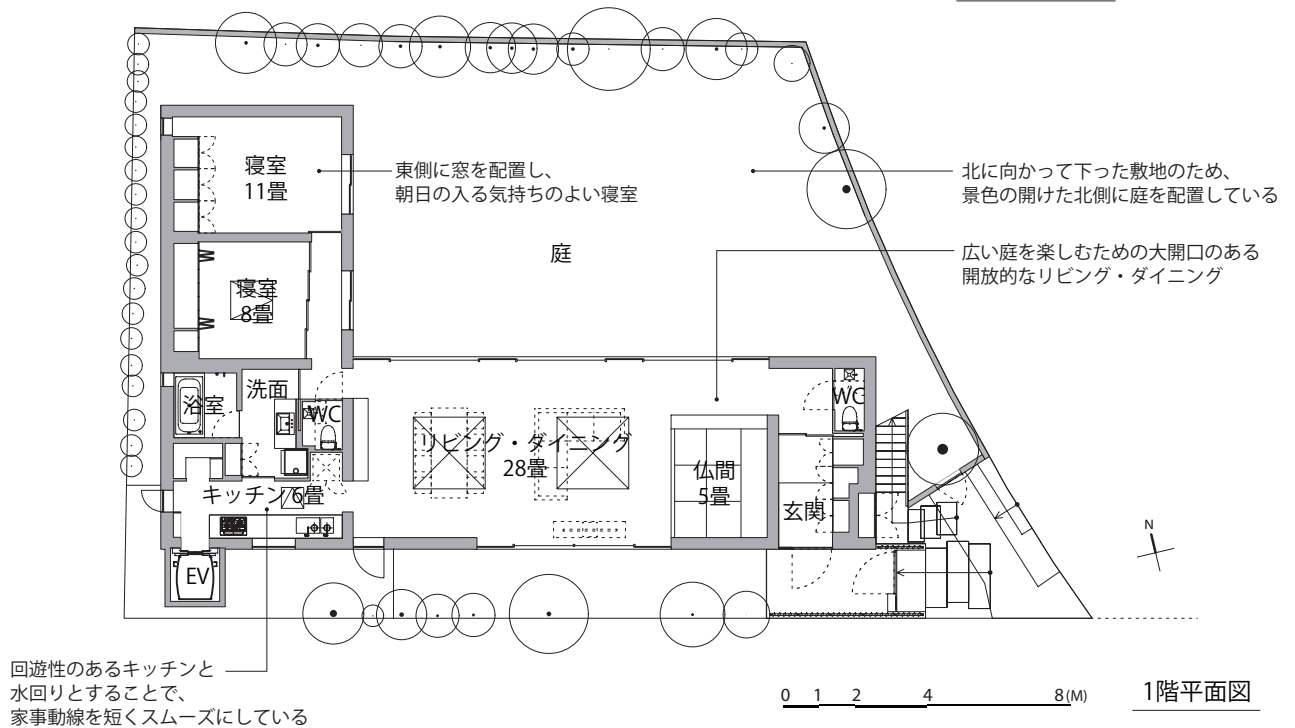




2階平面図



中空階平面図



1階平面図

計画地：千葉県 / 主要用途：二世帯住宅 / 工事種別：新築 / 延べ床面積：264.9㎡ / 1階床面積：134.6㎡ / 2階床面積130.3㎡



プレゼンテーションで使用した模型の断面写真
2階部分を持ち上げることで、生活音が下階に伝わるのがなくなり、2海の眺望も豊かになります。



プレゼンテーションで使用した模型の内観写真 1階のリビング・ダイニング
勾配天井に設置したトップライト、南側の地窓、北側(庭側)の大開口により、1日中様々な光を取り込むことのできる明るい空間です。



南東側から見た外観。施主要望で2階の外壁仕上げをコルテン鋼としています。
コルテン鋼の目地割りや窓まわりの納まりに気を配ることにより、無駄がなくシャープな印象となります。



北東側から見た外観。エントランスに移植した松や庭の木々の緑がよく映えるよう、外壁の色彩を決定しています。